

安全な生活を心がけよう。

◇自転車点検を受けて大切にすること

自転車は、毎日の登下校や生活を支えてくれる大切な乗り物です。点検を受けることは、「安全に乗れるかどうか」を確かめるための第一歩です。

◆点検後に大切にしてほしいことは次の3つです。

・整備された状態を保つこと

点検で直したり調整したりした部分も、使い方次第ですぐに不具合が出てしまうことがあります。急発進や乱暴な乗り方をせず、日々の使い方に気を配りましょう。

・異常に気づいたらすぐ対応すること

ブレーキの効きが弱い、タイヤの空気が減っている、変な音がするなど、小さなサインを見逃さないことが大切です。早めの対応が事故を防ぎます。

・「自分と周りを守る」意識を持つこと

自転車は自分の命を守るだけでなく、周りの人の安全にもつながります。きちんと整備された自転車に乗ることは、思いやりの行動でもあります。

「点検したからもう安心」ではなく、その後の使い方や意識が本当の安全につながります。生徒のみなさんも保護者のみなさんも、点検をきっかけに自転車を大切に扱う気持ちを持ち続けましょう。



◇放課後の過ごし方を考える

放課後は、自由に過ごせる大切な時間です。友だちと笑い合ったり、自分の好きなことに打ち込んだり、心をリフレッシュさせる時間でもあります。だからこそ、「どこで、どんなふうに過ごすか」がとても大事になります。たとえば、地域のコミセンの駐車場。そこはいろんな人が安心して車を止めるための場所です。もしそこで自転車を乗り回していたら、駐車する人にとっては危険で迷惑になってしまいます。もし自分の家の駐車場でそんなことをされたら、きっと嫌な気持ちになるはずです。また、幼保園のグラウンド。小さな子どもたちが安心して遊べるように用意された場所です。そこで中学生だけで遊んでしまうと、子どもたちの遊び場を奪ってしまうばかりか、けがをさせるなど明日楽しみに来る子どもたちを悲しませてしまうことにもなります。

公共の場というのは、「みんなのもの」であると同時に、「自分だけのものではない」場所です。だからこそ、その場をつかう人たちの気持ちを想像してすることが大切です。あなたたちがどこに行っても、「あ、中学生がいて安心だな」「気持ちよく使わせてもらえてありがたいな」と地域の人に思ってもらえる。そんな存在になれることが、きっと自分たちの誇りになります。放課後を楽しく、そして誰にとっても気持ちよく過ごせるように。自分たちがその場をどう使うかで、地域の空気は変わっていきます。未来をつくるのは、みなさん一人ひとりの選択なのです。

「未来に希望の種をまこう」～勉強という道具の使い方～

私たちの今は、これまでの行動の積み重ねがつくり出したものです。「やる」「やらない」「努力する」「逃げる」——そのときどきの選択が現在の自分を形づくってきました。そして未来の自分は、これからの選択で決まります。だからこそ、未来の自分に感謝されるような行動を、今選びたいものです。



さて、今日は「勉強」というものを、少し違った視点から見てみましょう。多くの人は「勉強はやればやるほど良いものだ」と思いがちです。けれども、勉強もまた一つの“道具”です。包丁やスマートフォンを思い浮かべてください。包丁は正しく使えば料理を美味しく仕上げ、生活を豊かにする便利な道具です。しかし使い方を誤れば、人を傷つける危険があります。スマートフォンも同じです。世界中の情報を手に入れることができ、遠くの人とも簡単につながれる素晴らしい道具ですが、使い方を間違えれば依存して生活を壊すことすらあります。勉強もこれらと同じです。正しく使えば自分を磨き、人生を輝かせる力を与えてくれますが、間違った使い方をすれば人を傷つけ、何より自分自身を傷つけてしまうのです。だからこそ、「とりあえずやっておけばいい」「やらないよりはマシ」という姿勢では、本当の力にはなりません。道具を持つことよりも、どう使うかが大切なのです。

勉強を間違って使ってしまうと、傷つくのはしばしば自分自身です。点数や合格だけを目的にして、人を見下したり、自分を追い詰めたりする。あるいは「勉強できればいいんでしょ」と目的を見失い、本当に必要な力を育てられなくなる。こうして勉強は、かえって自分の心を縛るものになってしまうことがあります。しかし、本来の勉強は素晴らしい道具です。学ぶことを通して「生きる力」を育てることができます。人生で直面する課題の多くは、誰も正しい答えを知らない問いです。将来、皆さんが選ぶ進路や仕事、あるいは人との関わりの中で直面する問題に、模範解答はありません。誰かが用意してくれるわけでもありません。そういうとき、自分の頭で考え、試し、失敗から学び、また挑戦する力こそが「生きる力」です。そして勉強は、その力を育てる最高のトレーニングになるのです。たとえば歴史を学ぶことで「なぜそうなったのか」と原因を考える力が育ちます。数学を学ぶことで、論理的に筋道を立てて考える力が磨かれます。国語を学ぶことで、自分や他人の思いを正しく理解し、表現する力が培われます。どの教科もただ点数を取るためのものではなく、未来を切り拓く道具を鍛えるための学びなのです。勉強すればするほど、挑戦する勇気が育ち、行動力が身につきます。まさに「生きる力」を強くする道具が勉強なのです。

進学も同じです。「就職に有利だから」といった消極的な理由だけで高校や大学に進むのでは、安定を求めるあまりにかえって不安に弱い大人になってしまうかもしれません。本来、高校や大学は「もっと学びたい」という人が集まり、新しい世界を広げるための場所です。そこには大きな可能性があり、そこでしか得られない出会いや経験が待っています。

だからこそ、勉強や進学の意味を、自分自身でしっかりと考えてほしいと思います。勉強は人を豊かにする素晴らしい道具です。正しく使えば、行動力を育て、挑戦する勇気を育て、あなたの未来を輝かせてくれます。3年生にとっては受験を控える今こそ、「何のために勉強するのか」という問いに、自分なりの答えを出すときです。

私は、あなたがその答えを見つけ、勉強という道具を最高の形で使いこなし、幸せな未来をつかんでいくことを願っています。